

美星中学校・3年 単元名『美星プロジェクト』の流れ（探究過程）と活動の実際 担当【別府 正幸】

◆単元のねらい ・身につけた学び方をいかし、人々の思いや願いを理解するとともに、課題を見だし、課題の解決に向けて主体的協働的に情報を収集し、目的に応じて整理したり関連づけたりして考え、取り組む態度を育てる。
 ・自分と地域との関わりを考えながら、今後の地域のあり方、自分の進路や生き方を考え、実践していく態度を育てる。

おかやま学びたい賞
 の評価コメントから
 視点を探る

課題設定

美星町の強み弱みを考える

星の郷町まちづくり
 コンソーシアムからの
 自由意見を分析

市長から地域の課題
 を聞く（講演会）
 ※コロナの影響で中止

高校からアドバイスを
 聞く（講演会）
 コロナの影響で中止

- プロジェクトを立ち上げる際、ターゲット（対象）を明確にして取組を考えている点、20年後の姿をイメージするなど、長期的スパンを想定している点がすばらしいと感じました。一方、招く側と、招かれる側の現状と利益などをもっと調査し分析できれば、賛同者が増え、プロジェクトが実現に近づくと感じました。
- プロジェクトは、地域の実情を踏まえ、望ましい将来も見据えた上で、また実施に際して想定される課題も考慮するなど、しっかり考えて作り込まれています。現状をどうやって把握したのか、どのような人と交流したのか、実施主体へどのように提案したのか、などプレゼンの中に盛り込むとさらに良くなります。

情報収集

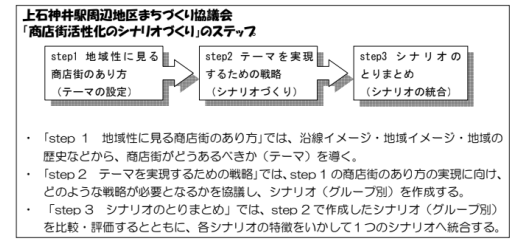
他の自治体の取り組みを知る。

稼げるまちづくり取組事例集
 「地域のチャレンジ100」

他の自治体の取り組みを知る。

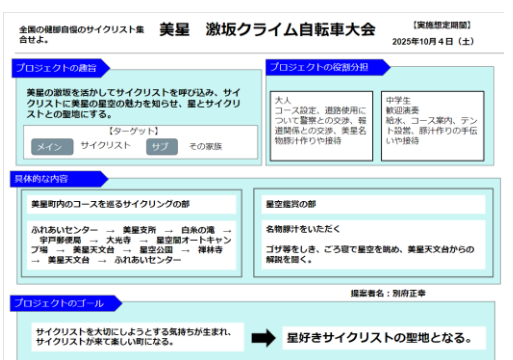
活性化100のアイデアを出し合う

地域の人に意見を聞いたり見に行ったりする。



整理・分析

テンプレートの視点で検討する。



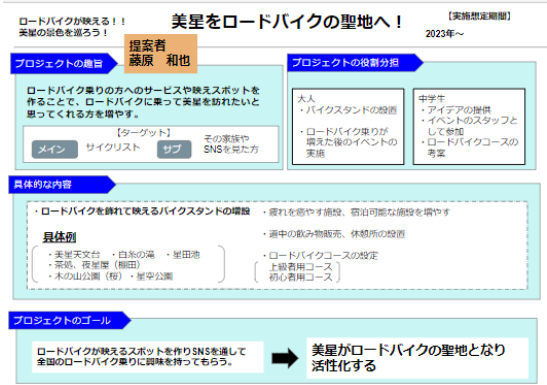
発表会をする

アドバイスを地域の方から頂く



まとめ・表現

共通テンプレートにまとめる



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- クロームブックを創造的に使えた。
- △外部との交流
- ☆コロナウィルスが終息し、お話を聞いたりふれあいをしたりする活動ができればよい。